

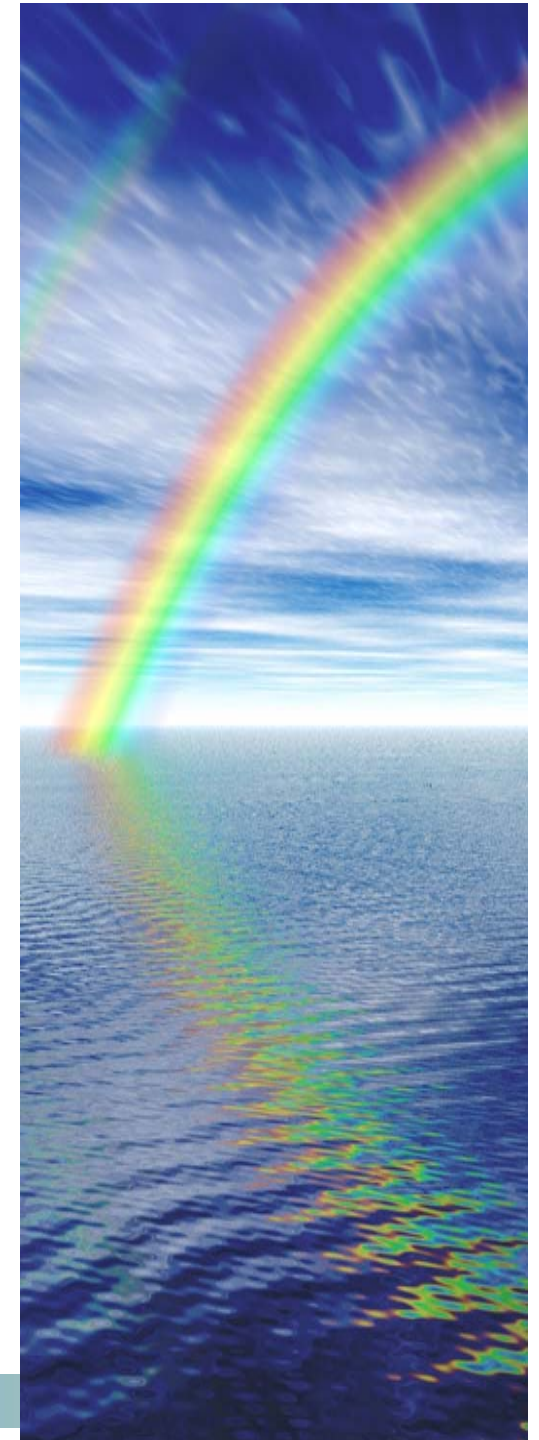


日本海洋学会 春季大会ナイトセッション

東京海洋大学の取り組み ～「海洋関連人材キャリアパス開発プログラム」について～

国立大学法人東京海洋大学
観測・調査等キャリア開発室
特任教授 松山優治

2013年3月22日 東京海洋大学品川キャンパス





若手研究者への期待と支援

- 我が国は長期にわたる**経済の停滞と財政事情の悪化**により、極めて厳しい状況にある。
- 国の再生には、先端的な科学技術を支える優れた**研究人材を育成することは不可欠**である。
- にもかかわらず、厳しい財政情勢の中では、**大学教員**や独立行政法人**研究機関の研究者**への道は**難関**である。
- 高い能力を有し博士の学位を持つ若い研究者に、国や独法・大学などの研究機関以外の進路、すなわち、**多様なキャリアパスが確保**できるような取り組みを進める。



ポスドクター・キャリア開発事業

・現状と課題

- 民間企業におけるポスドクターの採用実績が低く、就職口が少ない。
- ポスドクターの就職支援システムが確立されていない。

・新成長戦略(平成22年6月閣議決定)

- 2020年までに、理工系博士課程修了者の完全雇用を達成することを目指す。

・第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)

- 企業における長期インターンシップの機会の充実を図るなど、キャリア開発の支援を一層推進する。

・文部科学省が実施しているポスドク事業の目的

- ポスドクターの学生を対象に、大学教員や独立行政法人研究機関の研究者以外に国内外において多様なキャリアパスが確保できるよう、キャリア開発を組織的に支援するシステムを構築する取り組みを支援する。
- これにより、優秀な若者が、将来展望を持って科学の道に進むことを促す。



ポスドクター・インターンシップ推進事業 (イノベーション創出若手研究人材養成)

➤ イノベーション創出若手研究人材養成

- 京都大学 「先端技術グローバルリーダー養成プログラム」
- 九州大学 「革新的研究開発リーダー養成システムの構築」
- 熊本大学 「異分野融合型イノベーション推進人材の育成」
- 慶應義塾大学 「PhD躍動メディカルサイエンス人材養成」
- 広島大学 「地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画」
- 信州大学 「イノベーション創発人材育成システム」
- 新潟大学 「"ソフトな財＝経験"による若手人材育成」
- 千葉大学 「先進的マルチキャリア博士人材養成プログラム」
- 名古屋大学 「社会貢献若手人材育成プログラム」
- 早稲田大学 「実践的博士人材養成プログラム」
- 大阪大学 「協働育成型イノベーション創出リーダー養成」
- 大阪府立大学 「地域・産業牽引型高度人材育成プログラム」
- 東京工業大学 「プロダクティブリーダー養成機構」
- 東京農工大学 「アグロイノベーション研究高度人材養成事業」
- 東北大学 「高度イノベーション博士人材育成プログラム」
- 北海道大学 「北大パイオニア人材協働育成システムの構築」
- 北陸先端科学技術大学院大学
「キャリア目標に応じた人材養成の戦略的展開」
- 金沢大学
「産学連携による博士人材のキャリア形成教育プログラム」
- 立命館大学 「産学連携コオプ型高度人材育成プログラム」

- 神戸大学 「生命医学イノベーション創出リーダー養成」
- 岐阜大学 「産業牽引型イノベーション創出若手人材養成」
- 三重大学 「イノベータ養成のためのサンドイッチ教育」
- 東京大学 「グローバルヘルス政策人材養成講座」

➤ ポスドクター・インターンシップ推進事業

- 横浜国立大学 「研究者のためのキャリアプロジェクト」
- 静岡大学 「博士人材キャリア創造プログラム」
- 大阪市立大学 「産業牽引型ドクター育成プログラム」
- 群馬大学
「ポスドクター支援体制の強化による実践的な人材育成」
- 筑波大学 「グローバルリーダーキャリア開発プログラム」
- **東京海洋大学「海洋関連人材キャリアパス開発プログラム」**
- お茶の水女子大学
「ポスドクター／ドクターのキャリア開発に向けた取り組み」
- 福井大学 「ポスドクター・インターンシップ推進事業」
- 奈良女子大学 「ポスドクター・インターンシップ推進事業」
- 岡山大学 「若手研究者キャリア支援プログラム」



東京海洋大学の取り組みについて 「海洋関連人材キャリアパス開発プログラム」

- 事業の目的

- 平成23年度の文部科学省科学技術人材育成補助金「ポストドクター・インターンシップ推進事業」に採択
- 本学ポストドクターおよび博士後期課程学生のキャリアパス構築に取り組む

- 支援事業

- 企業と連携した長期インターンシップやワークショップなどの講義を通じて、高度な専門能力を有する人材の養成を目指す
 - 社会経済の各分野で指導的役割を果たす人材
 - 国際的に活躍できる人材



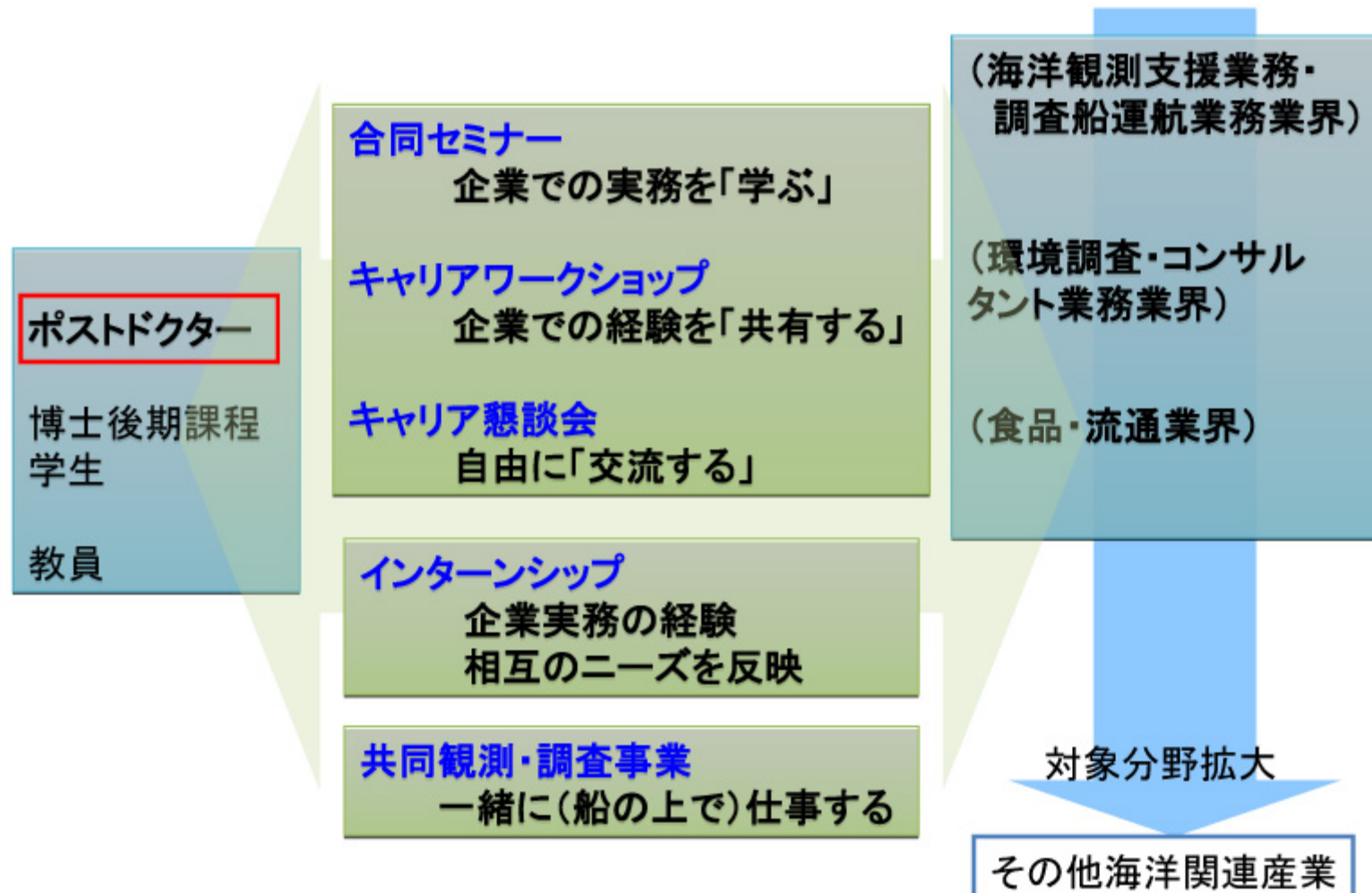
「海洋関連人材キャリアパス開発プログラム」 プログラムの概要

- 海洋の観測・調査分野を中心に、関連企業・団体等との連携を強化し、それらのニーズも踏まえつつ、**本学と産業界が求める人材のマッチングのための機会の提供を図る。**
- 高度な知識と技術を持つ専門研究者・技術者として、**船舶による海洋調査・研究、環境アセスメント、水産資源調査、鉱物資源調査等**に関わる企業等において活躍できる人材等の育成体制を整備し、本学の研究に携わっているポストドクターや博士後期課程学生のキャリアパスの多様化を目的とする。
 - ⇒ 海洋関連人材に限らず、対象分野を拡大し、本学が育成する博士後期課程全般の分野の学生に機会を提供する。



東京海洋大学の取り組み

海洋関連人材キャリアパス開発プログラム－企業との協働





「海洋関連人材キャリアパス開発プログラム」

主な事業内容

- **長期インターンシップ**

- PDおよびDCの学生にとって企業の事業活動を現場で学ぶ貴重な機会とする
- 「博士の能力を持つ高度な技術を備えた専門職業人」として、社会に貢献できる自らのポテンシャルを再認識するきっかけを提供

- **キャリア・ワークショップ、懇談会、セミナー、特別講演等**

- 民間企業の関係者等を招待して本学教員とともに、PD、DCの学生に社会人として就業に必要な知識を提供
 - スキルアップのための講義
 - 様々な経験談等を紹介

- **その他**

- 学内に「キャリアパス開発室」を設け、キャリアパスに関わる様々な相談に対応



「海洋関連人材キャリアパス開発プログラム」

各種イベントのH24年度実施状況

- キャリアワークショップ
 - 5回開催（計220名参加＋660視聴^{*1}）
- キャリア懇談会
 - 5回開催（計87名参加）
- スキルアップセミナー
 - 4回開催（計78名参加）
- 特別講演会
 - 1回開催（計76名参加＋61視聴^{*1}）
- インターンシップ修了生報告会
 - 2回開催

^{*1} USTREAMによる配信



「海洋関連人材キャリアパス開発プログラム」 長期インターンシップについて

- ① 本学と受け入れ企業との間に協定を締結
- ② 学生の申請に対して学内選考委員会で審議し、推薦候補者を決定
- ③ 受け入れ前に推薦候補の学生と面談により最終決定
- ④ 大学と企業が審議してインターン生を決定
- ⑤ 長期インターンシップは3ヶ月程度を予定
- ⑥ PDの給与は大学が負担(DCの給与負担はなし)
- ⑦ 交通費は大学が負担
- ⑧ 報告書を毎月作成
- ⑨ 期間延長は本人の希望を加味して大学と企業が協議して決定

他大学大学院出身者もインターンシップに応募できます。



「海洋関連人材キャリアパス開発プログラム」 長期インターンシップのH24年度実施状況

- 訪問企業数 19社
- 長期インターンシップ生の選出者数
 - DC 3名
 - PD 3名
 - インターンシップ先企業
 - いであ(株)
 - (株)東京久栄
 - 三洋テクノマリン(株)
 - (株)マリンワーク・ジャパン
 - カート・サーモン日本支社
 - 内3名がインターンシップ先企業に就職が決定



ご清聴ありがとうございました。



南極海で観測中の海鷹丸